

K0228

120分

[注意事項]

- * 受験番号は受験票で確認し、算用数字で正確に記入してください。
- * 解答は、所定欄に楷書ではっきりと記述してください。
- * 試験問題と解答用紙（同一）は回収しますので、持ち帰らないでください。

受 験 番 号						

氏 名	(フリガナ)
	(漢字)

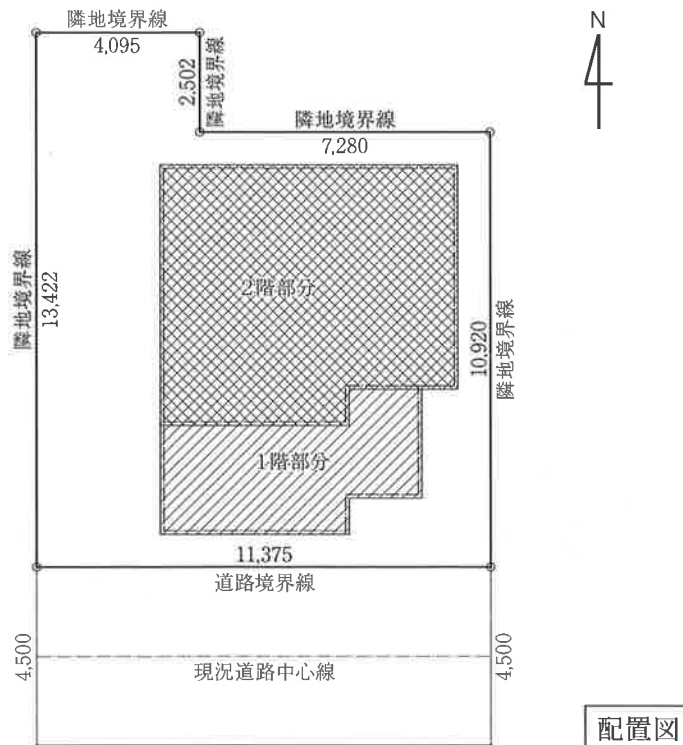
【問題1】 下記の建築物の解体工事を発注者から直接請け負った。あなたが責任者として、工事着工から完了まで現場を管理するとして、次の問1-1から問1-5までの問いに答えなさい。

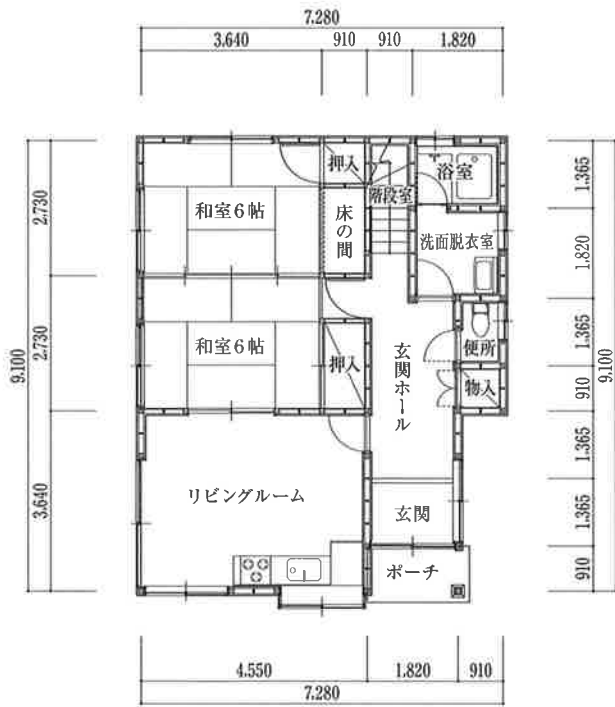
【解体する建物の概要】

- (1) 敷地面積：134.5m²
- (2) 建築面積：61.3m²
- (3) 延べ床面積：105.2m² (1階 61.3m²、2階 43.9m²)
- (4) 構造：木造2階建て (在来軸組構法)
基礎はコンクリート造布基礎
- (5) 用途：住宅 (1980年竣工)
- (6) 外部仕上げ：外壁 窯業系サイディング (石綿含有建材ではない)
屋根 住宅屋根用化粧スレート (石綿含有建材)
屋根ふき面積は70m²
- (7) 内部仕上げ：天井・壁はせっこうボード下地にクロス仕上げ

【立地・作業条件】

- (1) 近隣は住宅が密集した住居地域である。
- (2) 駐車禁止地区であるため、車両は道路に止められない。
- (3) 作業時間は、午前8時から午後5時までとする。





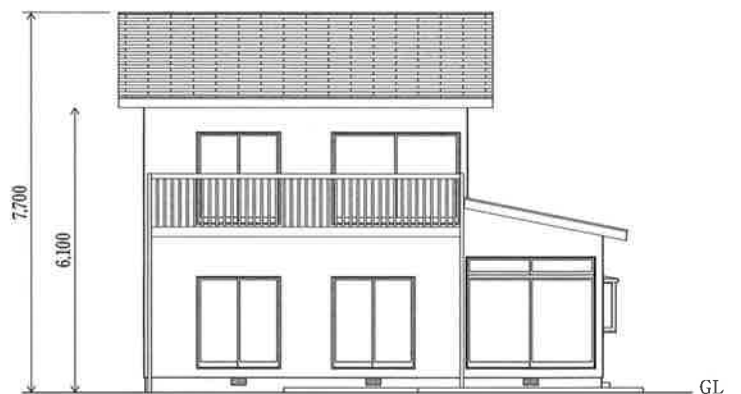
1階平面図



2階平面図



南立面図



西立面図

問1-1 当該解体工事の事前調査を行うとき、特に必要と思われる調査事項を次の欄に3つ記述しなさい。

(1)

(2)

(3)

問1-2 当該解体工事現場に関する事前の届出等について、次の の中に適切な語句・数値を記入しなさい。

建設リサイクル法の対象となる解体工事の規模基準は延べ床面積 m²

であり、この建築物の解体工事は建設リサイクル法の届出対象となるので、

者は、工事に着手する

日前までに

へ届出が必要である。

問1-3 内装材（せっこうボード）の撤去作業および保管・搬出作業について、その方法と留意点を具体的に記述しなさい。

(1) 取外し作業：

(2) 保管・搬出作業：

問1-4 「住宅屋根用化粧スレート（石綿含有建材）」の取外し作業について、必要な資格・装備・飛散防止対策を具体的に記述しなさい。

(1) 資格について：

(2) 装備について：

(3) 飛散防止対策について：

問1-5 当該建築物を分別解体して発生する「木くず」および「住宅屋根用化粧スレート」のおよその排出量を記入しなさい。

(1) 木くず：約 トン

(2) 住宅屋根用化粧スレート：約 トン

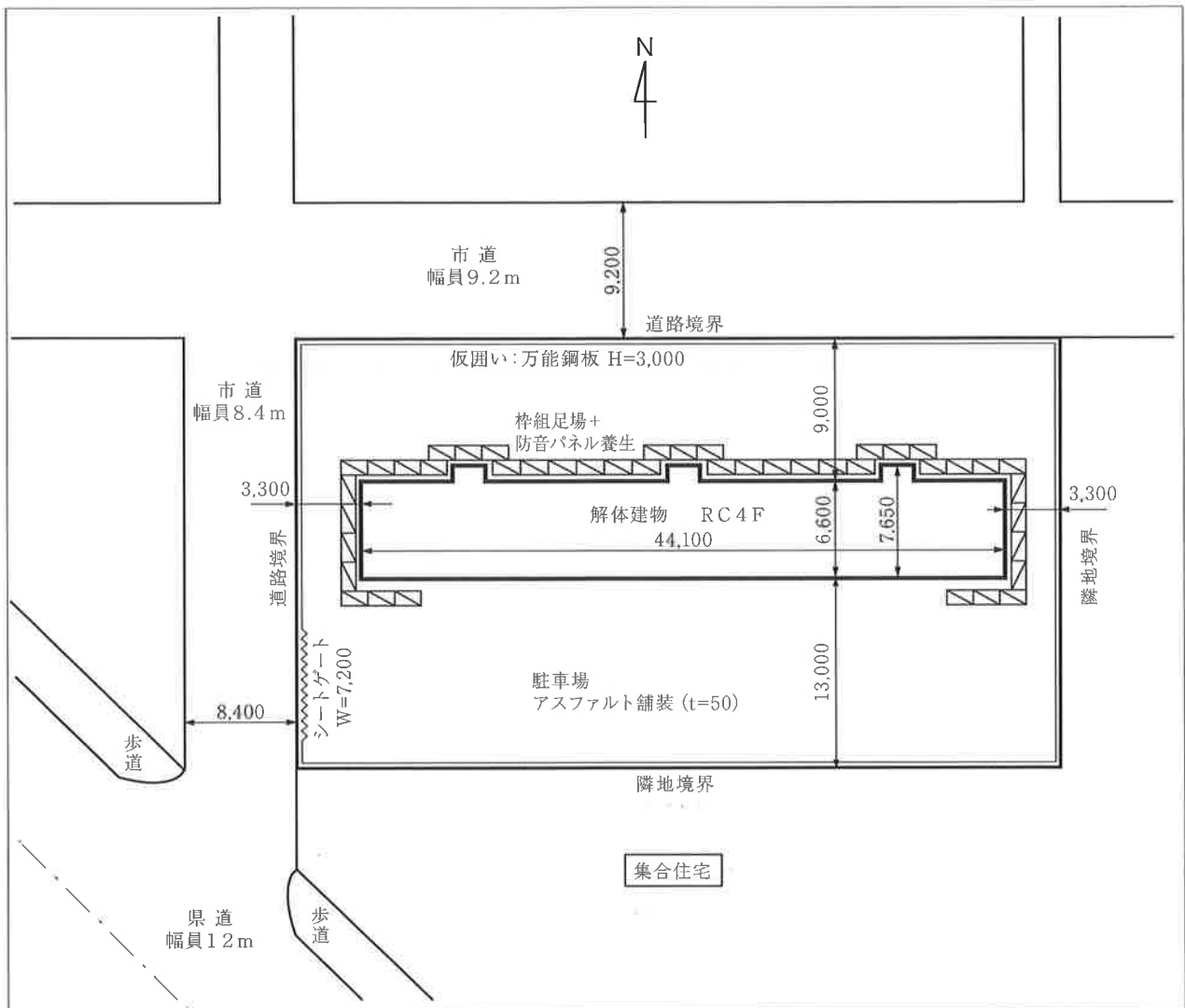
【問題2】 下記の鉄筋コンクリート造建築物の解体工事を発注者から直接請け負った。地上解体工法により解体工事を行うとした場合、あなたが責任者になって工事着工から完了まで現場を管理するとして、次の問2-1から2-5までの問いに答えなさい。

【解体する建築物の概要】

- (1) 敷地面積：1,450.02m² 敷地内の高低差なし
- (2) 構造：鉄筋コンクリート造
基礎は、既製コンクリート杭打ちフーチング基礎
- (3) 建築規模：4階建
建築面積 253.89m²
軒高 11.53m
- (4) 延床面積：1,185.03m²
- (5) 用途：共同住宅（24戸）

【立地・作業条件】

- (1) 当該敷地は角地にあり、敷地の南面、東面には集合住宅が建っている。
- (2) 敷地西側市道の幅員は8.4m、北側市道の幅員は9.2mである。
- (3) 県道の車道及び歩道の交通量が多い。
- (4) 作業時間は、午前8時から午後5時までとする。
- (5) 敷地境界には高さ3mの万能鋼板の仮囲いを設置し、解体建物外周3面には枠組足場と防音パネルを軒高より1.5m上まで設置する。
- (6) 基礎の杭は存置し、フーチング基礎までを撤去する。



問2-1 この建物には下記のような仕上材が使用されている。

このうち、事前に石綿含有分析調査が必要と思われるものには○、必要ないと思われるものには×をつけなさい。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| () 外壁：仕上塗材 | () 屋上：アスファルト防水 |
| () 台所：床長尺シート | () バルコニーの戸境壁：ケイ酸カルシウム板 |
| () リビング：木製フローリング | |

問2-2 着工前に必要な許可申請手続きまたは届出の名称、及び選任・配置が必要な作業主任者の名称を記入しなさい。

(1) 許可申請手続きまたは届出の名称

①

②

③

(2) 選任・配置が必要な作業主任者の名称

①

②

問2-3 当該解体工事において安全面からの注意が必要と思われる事項を、4つ記述しなさい。

①

②

③

④

問2-4 当該工事により発生するコンクリート及び鉄筋のおよその量を記入しなさい。

コンクリートの発生量：約 トン

鉄筋の発生量 ：約 トン

問2-5 主として「圧砕工法」で施工し、下記の条件により、着工から完了までの実稼働日数を70日として、バーチャート工程表を作成しなさい。

【条件】

- (1) 解体範囲：建物は基礎フーチングまで解体（杭は存置）し、敷地内駐車場のアスファルト舗装は撤去する。
- (2) 使用重機：0.7m³バックホウ・ロングブーム（15m） 1台
0.7m³バックホウ 2台
- (3) 運搬車両：隣接道路には重量による通行規制はない。
- (4) 気象条件：悪天候その他のトラブルはない。
- (5) 事前措置：近隣挨拶、各種許可等の手続、既存設備の休廃止等は完了している。
- (6) その他：各戸のトイレの天井に使用されているケイ酸カルシウム板は石綿含有建材であり、総面積は24m²である。

【工 程 表】

日数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
仮 囲																																																																						
石 綿 含 有 建 材 撤 去																																																																						
内部造作撤去																																																																						
建 物 養 生																																																																						
上 屋 解 体																																																																						
基礎フーチング解体																																																																						
駐車場舗装撤去																																																																						
発生材処理																																																																						
整地・片付																																																																						

[問題3] 集中豪雨による洪水で、1階部分が完全に水没し、内部に土砂、流木等が流入して半壊状態にある木造住宅を解体する場合、留意すべき点を3つ記述しなさい。

①	<hr/> <hr/> <hr/>
②	<hr/> <hr/> <hr/>
③	<hr/> <hr/> <hr/>

【問題4】 解体工事において、熱中症の危険が予想される作業内容を3つ記述しなさい。また、作業前・作業中・作業後に分けて、熱中症の予防・安全対策について記述しなさい。

危険が予想される作業内容	
①	
②	
③	

予防・安全対策	
① 作業前	
② 作業中	
③ 作業後	

